

「こんな仮装行列、ほかでは見ないでしょう」



「この日が来るのを待ってたんだけよ」

住民力が結集するから祭り

午後5時。祭りは千頭駅前親水公園に移動し「夜の部」が始まる。会場には富士宮焼きそば、たこ焼き、金魚すくいなどの出店が軒を連ねたほか、住民主催のバザーも人気を集めた。

特設ステージでは、子どもから大人までさまざまなグループが出演して、にぎやかにダンスや歌が披露された。来場者からは、ひっきりなしに祝儀が投げ込まれ、大きな拍手がステージを包み込んでいた。

ステージの間は、夜空を彩る花火が観客を魅了した。特に終盤間際のスターメインは圧巻。長時間にわたって花火がはじけ、会場の興奮は頂点に達した。

祭りの最後を飾るのは、奥大井煙火保存会による豪快な手筒

花火。「皆さんのご多幸を願って」と口上が述べられた後、最初の手筒花火が点火される。真つ赤な炎が4本、5本と夜空を染め上げる。さながら炎のカーテンのようだ。降り注ぐ火の粉をもとめせず、手筒を抱え雄叫びを上げる男たち。観客から送られる大きな拍手とかけ声が、千頭の夜空にいつまでも響いていた。

「何カ月もかけて、ずっと準備してきたんですよ」

住民力がここに実る

本ページ掲載写真は、すべて祭り会場で見かけた人たち。さまざまな仮装が千頭の町にあふれかえった。それを見つめる来場者には、終始楽しそうな笑顔があった。祭りを「音の迫力」で盛り上げた赤石太鼓保存会や、交通整理・花火の防火を担当した消防団などの「縁の下の活躍」も忘れてはならない。これこそ住民力が創り出す祭りの結晶だ。



地区を練り歩いた山車(右小写真)・出し物

- ①千頭西区 ドラゴンボール
- ②千頭東区1、2、3、4班 サザエさん
- ③千頭東区5、6班 AKB56メイドカフェ
- ④沢間区 狐の嫁入り
- ⑤寺馬区 ワンピース
- ⑥千頭東区7、8班 千頭よさこい(狐の嫁入りver.)
- ⑦桑の実 ゲゲゲの鬼太郎
- ⑧赤石太鼓保存会 太鼓屋台
- ⑨中部電力株式会社 からくり屋台



フォトグラフ
千頭・敬満大井神社祭典

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう